

中央公民館エリア「公共施設」再編研究ワークショップ



かわら版 20180616 Vol.2

全4回のワークショップの2日目。

今回は、前橋工科大学の堤准教授からの「公共施設マネジメントの考え方」などの講義と、研究室による「BaSS プロジェクト案」の発表からスタート。

より具体的なエリア最適化案の検討に向けて、参加者一人一人が、今の課題と解決策を整理する作業が始まりました。

第2回（中央公民館研修室）
2018年6月16日（土）9:30~11:30

①6/9 ②6/16 ③6/30 ④7/14
全4回（土曜日AM開催）

第2回目の参加者は、前回に引き続いて、中高生や市民21人とBaSSプロジェクト、前橋工科大学、市若手職員など合わせて**合計35人**。

地元小学生は、別メニューにより、ワークショップに参画しています。（詳細は次号でお知らせ）

第2回のテーマ「何をどうするか考える」

- BaSS プロジェクト案の概要
- 対象施設・場所の問題点（課題）を出す
- 問題点の解決策を考える



ワークショップの目的（位置づけ）
⇒合意形成ではなく、**多様性**を認識する

前橋工科大学堤研究室のHさんより、BaSSプロジェクトとして検討した中央公民館エリアの再編計画「こどもの“す”」案の概要を説明。

前橋工科大学堤准教授より、公共施設マネジメントの考え方や他市の事例を紹介。

- ◆財務（お金）、品質（機能）、供給（広さ）
バランスが重要⇒自分の家を考えるのと同じ！
- ◆「施設」ではなく「サービス」の視点で
サービスを提供する“拠点”であり、単に施設を提供するものではない！
- ◆先進事例、BaSSプロジェクトの活動紹介



グループ作業 現在の施設・場所について

- ① 困ったところ、問題点（課題）、ほしいものなどをたくさんあげてみよう！
- ② 課題の解決策、より良い方法は何か、みんなで考えてみよう！

グループ作業の様子

① 課題出し

② 解決策・アイデア

Aグループ

- ・体育館が足りない
- ・道が狭くて危ない
- ・公園のトイレが暗い、木が多い
- ・駄菓子屋を充実

- ・民地に歩行者用通路を確保
- ・木を整備し、イルミネーションなどで明るく
- ・駄菓子屋の2階に介護施設を入れ、利用者でお店を運営



Bグループ

- 公園が近くにあるのに利用していない
- ・遊具に魅力ない
 - ・季節感がない
 - ・段差が不便
 - ・賑わいがない
 - ・木が多くて暗い
 - ・柵が邪魔
 - 児童センターが活用しきれていない

- ・遊具の塗装、遊びやすく工夫
- ・桜や季節の花を植える
- ・イベントの開催
保育科が子供向けのイベントなど
- ・児童センターと学校の連携



Cグループ

- ・通学路が狭い
- ・公民館の駐輪場が奥にあり、不便
- ・公民館の予約方法が不公平(窓口申請は予約しづらい)
- ・用がないと来ない

- 駅から近い立地を有効に活用
- ・花火大会等のイベントの展示
 - ・レンタサイクルの拠点に
 - ・カフェや勉強スペースの確保
 - ・周辺の学校や施設の同時イベント



Dグループ

- ・利用されていない施設がある。
- ・小学校と学童が別
- ・公園が暗い
- ・立地や環境がいいのに、市民が集まることがない

- 学校を小中一貫校に建て替え
- ・狭い道路を封鎖し、ひとつのエリアとする
 - ・プールや図書館をまとめて大きくし、学校だけでなく、市民に開放。
 - ・貸館は民間事業者も利用
 - ・バス停の設置



このほかにも、たくさんの意見やアイデアが出ましたが、スペースの関係で省略しています。m(_ _)m

- ・駐車場が狭い
- ・階段(段差)が多い
- ・トイレが和式
- ・施設予約が不便
- ・中学生くらいの居場所が少ない

Eグループ

- ・全施設を1つの建物に
- ・小学校の校庭を一般開放
- ・子どもから年寄りが集まれる施設に
- ・利用頻度を上げる工夫



堤先生

今あるものを工夫しながら、将来を見据えて、様々な意見を出し合い、「地域に本当に必要なもの」を考えていく作業を続けてほしい。例えば、「駐車場が狭い」の解決策は「広くする」だけかどうか。車で来て、車で帰ってしまう。これで「地域の賑わい」が出るのだろうか。せっかくの機会なので、もっと固定概念を外して、思ったことを言ってほしい。まだまだたくさんの意見や提案を期待しています。

主催：鴻巣市

協力：公共資産経営研究プロジェクト (BaSSプロジェクト)